

# 福井の暮らしを支える青い石 笏谷石



## 丹巖洞

笏谷石の瓦をふいた門が  
印象的。庭園の  
円窓には笏谷石の  
彫刻が飾られ、奥  
には採掘口跡が  
残ります。  
福井藩主松平春嶽  
や横井小楠の  
密会場所として知られ  
貴重な遺構も。  
現在は米料亭。



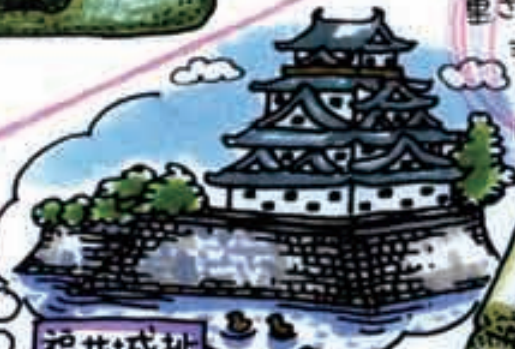
## 梶谷石材

丹巖洞の  
採掘石材屋から  
独立した笏谷石  
専門石屋。



## セツ尾口

笏谷石の採掘口跡の  
心とつ。照明のない中、  
昔の人はカンテラの光だけで  
尺六の石材を1日7~8本  
七リ出したと言われています。



## 福井城址

徳川家康の二男、初代藩主結城秀康  
が1601年に築城。当時は、高さ37  
4重5階の天守が建っていました  
(1669年焼失)。現在は笏谷石  
の石垣と土居の一部が  
残っています。

## 笏谷石とは?

約1700年前の昔から  
福井の身近な石として  
馬川染んできた笏谷石。  
「越前青石」「北庄切石」  
とも呼ばれています。  
90前の由來は石が掘られ  
ていた足羽山の一部が昔  
「石谷(いしやに)山」  
と呼ばれていた、  
継体天皇が  
手持ちの「笏」と  
石のありかを示した  
などの説があります。

